



きたそらち

2026
1月号
No.298

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

新しい年が、皆様にとって幸多き輝かしい年となりますよう、
心からお祈り申し上げます。

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram



JA.HITASORACHI

～ 今月のヘッドライン ～

- 新年のご挨拶 2～3
- つながるお米 ライスフォーラム 6
- 第74回 全道JA青年部大会
最優秀賞を受賞 12
- 幌加内そば粉でガレット作り
「クック☆キッズ」開催 14



新年のご挨拶

きたそらち農業協同組合

代表理事組合長

岩田 清正

新年あけましておめで
とうございます。

組合員の皆様におかれ
ましては、ご家族お揃い
で輝かしい新年をお迎え
の事と心よりお喜びを申
し上げます。

日頃より当組合の事業
運営に際し、特段のご理
解とご協力を賜り厚く御
礼申し上げます。

さて、私こと昨年4月
の総代会において役員と
して選任され、その後の
理事会にて組合長として
再任をいただきました。
早いもので1年が過ぎよ
うとしています。

当JA初の女性理事を
含め、新役員体制のもと
スタートした理事会は、
新たな風が吹き、前向き

な意見をいただきながら
進んでいます。

今後とも皆様方の深い
ご理解とご協力をお願い
申し上げます。

さて、昨年を振り返り
ますと、年明け早々から
アメリカのトランプ政権
が始動し、関税をめぐる
動きが活発化しました。

コメの流通においては
当初放出しないと明言し
ていた政府備蓄米が放出
される事となり、「江藤
米」、「小泉米」と揶揄さ
れる事態となりました。

参議院議員選挙におい
ては、農業者並びに我々
JAグループの代表とし
て出馬した東野秀樹氏が
皆様のご支援のもと、見
事当選を果たすことがで

きました。

国政では、女性初の内
閣総理大臣が誕生し、高
い支持率を得ました。

師走に入り、青森県東
方沖を震源とする地震が
発生し、その後、初とな
る「北海道・三陸沖後発
地震注意情報」の発令が
ありました。本年は大き
な自然災害の起きない事
を願うばかりでありま
す。

当JA管内の気象経過
ですが、春先の雪解けは
例年並みでした。

春の長雨により、水田
や畑の耕起作業に影響
し、全体の作業に後れを
生じ、田植、播種作業な
どに影響が出ました。
しかし、6月2半旬以

降高温傾向で推移し、夏
にかけて猛暑の影響もで
ました。このような状況
から、JAきたそらちの
基幹作物である水稻にお
いては、昨年もその高温
の影響を受け、移植後の
低温により分けつの発生
が緩慢となり、十分な茎
数が確保されないまま生
育が進み、収穫時には平
年より穂数が少なくな
りました。

6月中旬以降の高温の
影響により草丈も長くな
り、収穫間際に倒伏する
圃場が散見され、収穫作
業が難航しました。

北海道農政事務所が発
表した北空知の作況単収
指数は「96」となりまし
たが、今までの作況指数

とは異なり、直近5年で
最も収量が多かった年と
少なかった年を除いた3
年間の平均値を出す方法
へ変更になりました。

また、収穫後もコメの
価格は安定せず、小売価
格は高値を更新する事態
となりました。

畑作物については、長
雨により作業は遅れまし
たが、生育期には平均を
上回る気温・日照により、
ほぼすべての畑作物にお
いて順調に生育しまし
た。

秋小麦については、平
年並みの融雪と、出穂期
以降の高温少雨により生
育が進み平年並みの収量
となりました。

登熟期間も日照時間が

しつかり確保できたことと、形質が良好であったため全量Aランクに調製することが出来ました。豆類については、小豆・大豆ともに順調に生育しました。

生育期全般にわたり気温も高かったため、収量が伸びました。

そばについては、耕起、播種と順調に進みましたが、開花時期の最低気温が高く推移したことにより結実率が低下し減収しました。

青果については、猛暑の影響により厳しい栽培環境となりましたが、生産者の努力により大きな影響もなく供給できることができました。一方、花きにおいては高温による前進開花や短径開花により、需要時期への対応に苦慮し、需要と供給のミスマッチの余波の影響もあり、販売において大変厳しい結果となりました。

肉牛と乳牛については、枝肉価格回復の兆し

や乳価の値上げが行われたものの、依然飼料価格高騰の影響は大きく、生産者にとっては厳しい環境が続いています。

組合員の皆様におかれましては、基本技術の励行と時事に見合った生産にご尽力いただき、厳しい環境のなか多くの農畜産物の出荷をいただきました事、心よりお礼を申し上げます。

さて、国外に目を向けますと、円安の状況は変わらず、生産資源の多くを輸入に頼っている我々の農業経営はコストの増加が常態化している状況であります。

ロシアによるウクライナ侵攻は未だ終息の目途は立っておらず、さらに世界各地で線状降水帯による大雨や干ばつによる山林火災、気圧の急激な変化による台風や突風など大きな自然災害が頻発しています。

その発生要因は地球温暖化によるものとされていますが、我々農業の現

場でも、その被害は拡大しています。今後も気象変動を見据えた営農技術、生活様式の見直しなどを検討し対応していかなければなりません。

さて、昨年12月に「Kitaso Forachi Rice Forum」を開催しました。

生産者、ホクレン、卸、実需などコメの流通に関わる皆様にお集まりいただき、コメ流通の「今」を知っていただくことができました。

160名ほどの来場者の中には「これから系統を通じて安定して届けられることが大切」との意見や、「先代から受け継いだ農地を守るために組織として活動することが大切」など、大変貴重なご意見をいただきました。

一方、高止まりと言われていたコメ価格も現在は多くの銘柄で3万円を下回り始めており、先の市況を予測するデータにおいても、コメ需給が緩

むとの指数が示され、コメ価格の下落に私たちの不安は尽きません。

消費者目線で見ると一年で二倍近い価格となり、納得のいかない価格であるかもしれません。が、今日まで稲作農家の経営は決して楽な経営ではなく、稲作の不足分を他の作物や農外収入などで賄ってきたことが現実であります。

政府の食糧に対する考え方も含め、改めて食糧生産者への安定した収入のあり方が問われています。

JAとしても生産者の安定した経営のために、政治的にも国民の世論的にも様々な方法を通じて食糧を自国で賄う大切さを訴えて参ります。

国民に愛され、納得して買って頂ける食糧こそ私たちが本当に生産する意味のあるものになると考えます。

目まぐるしく変わる農業情勢に対応しながら、全道一の生産量と集荷量

を誇る米責任産地として、農業生産の拡大と農家所得の増大は命題であり、地域を守るため、担い手の確保・育成に取り組みつづ、協同組合の結束力により、地域経済発展の核となるJAを目指し進んで行きたいと思えます。

組合員の皆様を、生涯に渡ってサポートし「農業振興を通じて地域社会に貢献」することを理念に掲げ、本年も役員一丸となり邁進していく所存です。

本年は「丙午（ひのえうま）」であります。

穀物を搗く道具の「杵」は馬の形をかたどったと言われています。

大きな成長と結実の一年となる事を願い、本年も天候に恵まれ、稔り多い一年に成ると共に、組合員の皆様にとってご健勝で、幸多き年に成ります事をご祈念させていただきます、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和8年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

樽井 功

新年あけましておめで
とうございます。

組合員の皆様におかれ
ましては、日々営農に更
に邁進されておられるこ
とと存じます。

また、組合員・役職員
の皆様が丸となり地域
農業の振興や地域社会の
発展に向け、日頃より多
大なご尽力をされている
ことに対しまして、改め
て敬意と感謝を申し上げ
る次第であります。

昨年の北海道農業につ
いては、春先から天候に

恵まれ、各作物の生育は
全般的に平年よりも順調
に推移しておりますが、

道内の広範囲におい
て被害が発生した夏場の
記録的な豪雨や干ばつに
より各作物等の収量およ
び品質に影響が出た一年
となりました。

近年、気候変動等によ
る自然災害の多発や栽培
適地の変化、円安基調の
継続や国際紛争等起因
する資材価格の高止まり
が農業経営に大きな影響
を与えており、農業・農

村を取り巻く環境は大き
な変革期を迎えておりま
す。

この様な状況の中、昨
年7月に実施された参議
院議員選挙において、組
合員・JA役職員をはじ
めとする多くの皆様のご
支援をいただき、全国農
業者農政運動組織連盟が
推薦した東野ひでき氏が
国政に送り出すことがで
きました。

この一步を重要な礎と
し、改正基本法により基
本理念として位置付けら

れた、国民一人一人の食
料安全保障の確保や環境
と調和のとれた食料シス
テムの実現、持続可能な
北海道農業の確立に向け
て、組合員・JAの声を
国政に届ける活動を継続
していきます。

JAグループ北海道
は、今後とも組合員との
対話活動を一層強化し、
協同組合の理念と精神を
組織結集力につなげ、組
合員の皆様が夢と希望を
持つて営農と生活が続け
られる環境を整え、「力
強い農業」と「豊かな魅
力ある地域社会」の実現
に全力で取り組んでまい
ります。

結びになりますが、本
年は午年です。午年はエ
ネルギーと行動力が高ま

り、挑戦や成長の機会が
得られる年とされていま
す。この謂われにあやか
り、本年が北海道農業の
更なる飛躍の年となるこ
とと、皆様のご多幸とご
健勝をご祈念申し上げます。
年頭のご挨拶といたしま





年頭のご挨拶

JAきたそらち青年部

部長 徳重 雅也

新年明けましておめでとうございます。

日頃より当青年部に対し、各関係団体並びに組合員の皆様には特段のご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年の営農を振り返りますと、春先の降雨により播種作業が遅れたものの夏場に高温が続いたことから急激に生育が進み水稲におきまして品質低下や収量減少がみられました。

畑作物につきましては、大豆は平年並みの作柄ではあったものの、麦においては病害や倒伏が発生しました。

猛暑や干ばつにより、発芽不良や結実不良といった生育に対する問題が近年みられることから、適切な播種時期の選定、細かな管理作業、刈取時期の選定など考えさせられることが多くあった1年だったと思います。

世界に関心を向けますと、各地における紛争が農業生産や物流に大きな影響を与えています。アメリカとの関税措置に関する協議につきましては相互関税を15%にとどめ、米についてもミニマムアクセスの枠内での輸入割合を増加させることで着地したものの、生産者を始めと

した国民に大きな不安を与えており、国内においても米の品薄により「令和の米騒動」とも呼ばれる米価高騰が継続しています。こうした情勢の変化によって食糧安全保障の重要性が改めて浮き彫りとなっていると思います。

このような状況だからこそ、私たち青年部として安全・安心な農畜産物の安定供給を通じ、国民の食を守る役割を担って参ります。

青年部活動においては、球技大会や部員交流会で各支部の盟友と交流を深め、営農学習会では青年部活動に関する知見をより深め、改めて青年部の大切さを学んだ一年となりました。

2月のスノーメッセJ制作では、初の試みとして幌加内町の「ほろたちスキー場」の駐車場で作りました。メッセJチームである「Dawn!!」(ド

ーン!!)」という言葉には、「青年部員が力を合わせ、新しい時代を築いていく」という思いを込めました。

8月は白米販売促進事業を行い、音更町の「びあざフクハラ音更店」と幕別町の「びあざフクハラ札内店」でJAきたそらち産米の試食販売を行いました。今回は直播栽培用の「えみまる」を2店舗で販売し、消費者には多く知られていない品種でありながらも試食や、えみまるの特徵などを説明することができ、購入していただくことができました。

10月は北広島市の「ホクレンくるるの杜」で、女性部と合同による「JAきたそらち農産物フェア」を開催しました。当日は晴天に恵まれたこともあり、呼び込みを積極的に行うと来場客が足を止め、私たちの商品説明を聞いてくださり、手に取っ

て購入していただきました。多くの方々からJAきたそらち産の農産物をPRすることができました。

両事業を通じて実際に消費者と対話し直接交流することで、私たちが生産した農産物を知ってほしい、会話の中では「おいしかった」などのありがたい言葉をいただき、大変素晴らしい活動となりました。

結びとなりますが、資材価格の高騰や担い手不足など農業に対する課題は多くありますが、私たち青年部は活動を通じてJA運動の先頭に立ち盟友一丸となって乗り越えて参ります。本年も各関係団体並びに組合員の皆様からの、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



年頭のご挨拶

JAきたそらち女性部

部長 高田 聡子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年も斯様に晴れやかな書面にてご挨拶させていただく機会を頂戴いたしまして厚く御礼申し上げます。

また、日頃より組合員並びに各関係機関各位の皆様には、J

A女性部活動へのご理解ご協力を賜り心より感謝するところでございます。

さて本年は丙午。かつては女性に日く付きまとう干支のひとつでしたが、どうやら江戸時代の迷信「丙午の年は火事多し」説と八百屋お七の逸話とが然も

ありなん、と後世まで尾ひれ付きに語り継がれた迷惑なおはなしの様ですね。丙午女性のみなさんには、つまらない諸説に臆することなく光り輝いていたいただきたいものと存じます。

馬といえは昨年地上波初の再放送が話題となりましたドラマ『北の国から』。除雪車すら諦めるほどの凄まじい猛吹雪の中、馬糞が遭難車を捜索に行く場面、放送当時、電力や何らかの動力に頼らなければ赤子同然の人の無力さと大自然を生き抜く高い能力を秘める馬を始めとした他の生物との差異に気付かさ

れ、あらためて人とはいったい何様なのであるかと考えざるを得ませんでした。このところの野生生物との向き合い方ひとつにしても高度に進化した知性が幼稚な傲慢さに押し戻されぬよう配慮しなければならいのではないかとの思いがいたします。

近年、空知管内のワイナリーにおいて「馬耕」が見直され馬耕による土づくりが行われているとのこと。最先端技術を活かすことと併せて昔ながらの技術の中にかつては知り得なかった叡智が埋もれてはいまいか、い

ま一度見直すことも必要なのかもしれません。

変わりゆく気候、高齢化する農業者など農作物を安定的に供給するためのしつかりとした政策も大切ですが私たち生産者が自ら積極的にあらゆる方面への働きかけをいたしてゆく躍動感あふれる佳き一年となりますよう祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。





生産者の思いを伝える4日間

ハピオ木野店でJAきたそらち産米をPR

11月20日から23日の4日間、JA木野が運営するスーパーマーケット・ハピオ木野店（音更町）でお米の販促イベントを実施し、各支所より生産者やJA役職員が参加した。

初日はふかがわまい「ふっくりんこ」、2日目はうりゅう米「ななつぼし」、3日目は北竜ひまわりライス「おぼろづき」「きたくりん」、最終日にはJAきたそらち産ブレンド米（「ゆめぴりか」と「ななつぼし」の配合）の「羽飛雄（ハピオ）」を販売した。特に初日のふかがわまい「ふっくりんこ」は、BEST F SELECTION 2025を受賞した高品質なお米として多くのお客様の注目を集めた。そして期間中は、恒例であるお米すくいをご購入くださったお客様に実施し、多くの方に楽しんでいただいた。

最終日の「羽飛雄」の販促イベントには、北海道米アンバサダー横倉綾乃さんにもご協力いただき、「JAきたそらちの生産者さんと職員さんのチーム力がおいしいお米につながっているんですね」とのコメントをいただいた。

また、今回のイベントを通じて販売部高木課長は、「米価高騰の厳しい状況が続いているが、今後も安定した生産者手取り額の実現に向け、有利販売を継続してまいりたい」と述べた。

【米穀課 植田】



販売部

KITASORACHI RICE FORUM

～つながるおこめ～

12月2日、「KITASORACHI RICE FORUM ～つながるおこめ～」がラ・カンパニーホテル深川で初開催され、約140人が参加した。同フォーラムは、コメの集荷競争激化を踏まえ、農協出荷への理解につなげようと企画された。

講演では、当JAの販売部米穀課の高木課長が、「令和7年度産米の集荷状況について」説明した後、販売部の島倉考査役が、「令和7年度 JAきたそらちの水稲作柄を振り返って」と題して発表した。農耕期間の気象経過について触れ、「今年は気温の高い年だった。高温・多照により生育速度も速く、収穫も平年より早く終了した」と話した。

また、岩田清正組合長と（株）神明の営業本部の安藤大介次長、（株）全農パールライスの中崇常務取締役の3名によるトークセッションも開かれた。JAきたそらちに今後期待することや一緒に挑戦してみたいことというお題に対して、岩田組合長は「お米のブランドを固めて、ワンランク高い価格での販売に結び付けたい」と述べた。これに対し、中崇常務取締役は「まずは、消費者の理解してもらうことが一番。流通に関わる人間がしっかりと説明し、その価値を理解して頂くことが大事」と語った。

【営農企画課 坪】





雨竜町の魅力をPR 北海道『道の駅』PRフェアに参加



11月22日、イオンモール札幌発寒店で「北海道『道の駅』PRフェア」が開催され、道の駅「田園の里うりゅう」を含む道内8か所の道の駅が集まり、特産品販売や観光PRなどを行った。

当JA雨竜支所からは役職員2名が参加。雨竜町役場、(株)雨竜町振興公社の職員とともにイベントを盛り上げた。開店直後から多くのお客様が来場し、特別価格で販売した新米のうりゅう米「ゆめぴりか」と「ななつぼし」を求めた。さらに、うりゅう米を使用した煎餅などが並び、雨竜町の魅力をPRした。

また、1,000円以上お買い上げのお客様には、先着50名様限定でうりゅう米が当たるガチャガチャのイベントも実施し、老若男女問わず多くのお客様が楽しんで参加している様子だった。

ブースに足を運んだお客様からは「札幌まで来てくれてありがとう」など、多くの温かい声を聞くことができた。

【雨竜資材課 齊藤】



沖縄「うまんちゅ市場」で ひまわりライス販売イベントを開催



11月22日と23日の2日間、沖縄県糸満市の「うまんちゅ市場」にて開催された23周年祭において、当JA青年部員と役職員8名が参加し、北海道米「ひまわりライス」の試食販売イベントを開催した。

本イベントは、人気銘柄である「ななつぼし」と「ゆめぴりか」を販売。さらに、5kgご購入のお客様には、ななつぼし300gをプレゼントする特典も用意した。

会場では試食を通じて、多くのお客様から「おいしい！」との声をいただき、ひまわりライスの良さを実感していただくことができた。また、開店から閉店まで、人の流れが途切れることなく、2日間で約5,600名もの来場者が訪れた。その結果、今回の販売実績はななつぼし473袋、ゆめぴりか284袋と、過去最高の売上を記録した。

今回のイベントで、当JA職員は「北海道米の知名度と人気が高まっていることを実感した。これからも、皆さまに喜ばれる商品を届けていきたい」と話した。

【北竜支所 長谷川】



12月13日、深川市社会福祉協議会主催の「深川子ども未来食堂」にて、ボランティアグループあみていえが第2回子ども食堂を開催した。当日は会員12名が参加し、北空知管内の子ども（18歳以下）と保護者を対象に「毛糸だまりリース作り」と昼食の提供を行った。

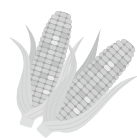
毛糸だまりリース作りには、15名（大人5名、子ども10名）が参加。丸めたキッチンペーパーに毛糸を巻き付けたものを、紙皿の縁を切り取って毛糸を巻き付けた土台にグルーガンや手芸用ボンドで貼り付けた。十人十色の異なるアレンジが完成し、参加者は「毛糸をぐるぐると巻くのが楽しかった。簡単だったのでおうちでも作ってみたい」と話した。

昼食では、深川産・北竜産の野菜、JAきたそらち産のお米を使った、カレーライス・ポテトサラダを27名（大人12名、子ども15名）へ提供した。カレーライスはトッピング自由（ミニハンバーグ、素揚げ野菜）とし、またデザートとしても自分でトッピングするミニパフェを用意。昼食を食べた児童は「ハンバーグが好きなので、美味しいカレーと一緒に食べられるのが嬉しかった。パフェを自分で作るのもとても楽しかった」と笑顔を見せた。

同グループの田畑陽美会長は「自分で選ぶ、自分で作る体験を通して、子どもたちのいきいきとした姿が印象的だった。これからも地域で子ども達を見守り、つながりを感じられる場として続けていきたい」と話した。

【営農企画課 石野】

農業
振興部



一已中農業体験 実食
ポップコーンづくり



11月18日、深川市立一已中学校3年生による「ポップコーンづくり」が深川市働く婦人の家で行われた。同校では、総合的な学習の時間として農業体験を実施。ポップコーン専用品種のとうもろこし「イエローポップ」の苗を生徒自らが定植し除草作業、そして10月には収穫体験を行った。

この日は2クラス計70人の生徒が、5～6人ずつの班に分かれ調理。初めに、当JA職員が手順と注意点を説明しながらポップコーンを作り、それを見た生徒たちは、早速作業に取り掛かった。最初は、塩味のポップコーン作りからスタート。火力調整に慣れず、焦がしてしまう生徒もいたが、フライパンを上手く使い沢山のポップコーンが出来上がった。

また、塩味のまま味わう生徒やキャラメル味に挑戦する生徒もいた。材料をまんべんなく混ぜたり、火から時々離したりし、焦げないよう慎重に行った。すると、甘い匂いが調理場に広がり、おいしいようなキャラメルポップコーンが出来上がった。

参加した生徒は、「自分で作ったキャラメル味が一番おいしい」とポップコーンを食べながら、笑顔で話した。

【営農企画課 坪】



JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」5期生第5講 ～北竜町産の稲わらでしめ縄飾り作り～

12月3日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」5期生の第5講が開催され、受講生11名が参加した。今回のテーマは、「稲わらを使ったしめ縄飾り作り」。北竜町で活動している「つむぎ」より浅野香織氏、竹林玲子氏、谷本桂氏、吉田愛氏を講師に迎え、北竜産の稲わらを使ったしめ縄飾りを製作した。

2人1組で作業を行い、ペアで談笑しながら稲わらを編みこみ、頑丈な縄を作った。飾り付けの工程では、水引や松ぼっくりなど様々な材料の中から悩みながらも組み合わせ、完成すると受講生同士でお互いにアイデアが詰まった飾り付けの作品を見せ合って笑顔を見せた。

受講生は「稲わらを編みこむのに思ったより力が必要で苦労したが、とても可愛らしく仕上がったので自宅に飾りたい」と話した。

【営農企画課 石野】



**農業
振興部**

令和7年度 北育ち元気塾第5回研修会 開催

11月20日、「北育ち元気塾第5回研修会」がJA北いぶき本所で開催され、塾生11名が参加した。研修会では、まずJA北いぶき金融事業部融資課の荒木真人課長とJA北海道中央会岩見沢支所の竹内ひなの氏による「農業経営とクミカン制度について」の講義が行われた。

講義では、竹内氏が現在の空知管内の農業について説明した後、経営規模と所得の関係についても解説。例として、スマート農業の記事を取り上げ、適切に活用することで利潤が最大化されること伝えた。また、クミカン制度については、毎月送られてくる2種類の報告書から営農記録やキャッシュフローを把握でき、経営分析や営農計画書の作成に役立つことを説明した。

次に、農業士である北竜町の加藤亮氏が「我が家の経営について」の講義を行った。加藤氏は、スターチスなどの花きを主軸として経営しており、稲作と畑作にも取り組んでいる。講義では、年間を通した花きの栽培について解説した後、家族経営での悩みや農業機械の大変さについても話した。

「やってあげれば良かったこと」について尋ねると、加藤氏は「栽培面積は必ず増えていくので、農業機械の勉強をもっとしておくべきでした」と答えた。そして塾生に向けて、「皆さんは今のうちに機械メーカーとつながりを持っておくのと良い」とアドバイスを送った。

【営農企画課 坪】



全道JA青年部大会

きたそらちから全道トップ! 庄司氏が最優秀賞

JA YOUTH 青年部
だより

12月4日、5日の両日、北海道農協青年部協議会主催の「第74回全道JA青年部大会」が札幌パークホテルで開催された。全道から796名のJA青年部盟友が集まり、JAきたそらち青年部からは7名が参加した。今回は「Step For The Future つなぐ思い、ひらく未来」を大会テーマに定め、同協議会の高見章太会長の開会挨拶で始まった。

4日に行われた「全道JA青年の主張大会」では、当JA青年部から庄司俊喜氏が「変わらぬ過去と創る未来」と題して出場。青年部活動を通じて得た、仲間の大切さを伝え、「もっと『人と人とのつながり』を深める場所にしていきたい」と、熱く語った。会場からは、盟友たちが「庄司がんばれー!」と声援を送り、青年部の絆を感じる光景だった。

そして、庄司氏の思いは審査員にも届き、見事最優秀賞を受賞。審査員からは、「青年部の本質である仲間の大切さをしっかりと捉えている」と評価された。修正の指摘もなく、完成度の高い素晴らしい発表として絶賛された。庄司氏は「受賞できたのは、当JA青年部のみなさんのおかげです」と感謝の言葉を述べた。

今回の最優秀賞受賞により、庄司氏は1月20日から開催される東北・北海道ブロック大会へ北海道代表として出場する。目指すは全国大会!これまでの大会を通じて得たものを活かし、さらなる高みを目指す。

【営農企画課 坪】



女性部幌加内支部

そば打ち体験・運動教室を実施

女性部
だより

11月25日、女性部幌加内支部はそば打ち体験と運動教室を実施した。

そば打ち体験事業では、(株)そばの坂本の坂本勝之さんを講師として迎え、そば打ちの魅力と楽しさを教わった。部員はこね方や水分量の調整に悪戦苦闘しながらも、終始楽しみながらそば打ちを行っていた。

終了後、坂本講師から「そば打ちが楽しかった気持ちを忘れずに、これをきっかけにそば打ちを続けてほしい」との言葉をいただいた。また、古屋幹江副支部長は「坂本さんのそば打ちに対する熱量と丁寧なご指導により、楽しくそば打ちをすることができた」と述べ、今回のそば打ち体験を締めくくった。

運動教室では、幌加内支所営農課の齊藤絢職員を講師に迎え、チューブトレーニングを使用した下半身強化や肩甲骨のストレッチ、ペットボトルや椅子を使用した筋力トレーニングを行った。今後の活動をより活発に参加できるよう、今回実施したチューブトレーニングや筋力トレーニングをぜひ継続していただきたい。

【幌加内支所 宮田】



JAきたそらち女性部 管内保育園へ手縫い雑巾を贈呈

地域貢献活動の一環として、JAきたそらち女性部員が一枚ずつ仕上げた雑巾220枚を、JAきたそらち管内11か所の保育園へ寄贈した。

女性部員たちは「子どもたちが楽しく掃除ができるように」とカラフルな糸で可愛らしく仕上げた。寄贈された雑巾は、子どもたちが足腰を鍛えるために机や床を拭く作業や施設内の掃除などに使われる。

各保育園からは「毎年ありがとうございます。大切に活用します」と大変喜ばれた。

【営農企画課 高桑】



わかば認定こども園



認定こども園 あけぼの保育園



北光保育園



新中央保育園



深川西町保育園 さくらんぼ



音江中央保育園



納内保育園



たどし認定こども園かぜっこ



雨竜町保育園

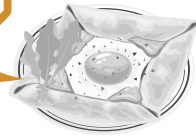


やわら保育園



双葉保育園

幌加内そば粉でガレット作り 「クック☆キッズ」開催



11月15日、JAきたそらち女性部は幌加内町生涯学習センターあえる97で、小学生以下を対象とした地域の農産物を活かした食育活動「クック☆キッズ」を開催し、親子19名が参加した。

今回は、幌加内産そば粉を使用した「そば粉ガレット」、深川産リンゴの「りんご飴」、そして「かぼちゃポタージュ」を調理した。

女性部員は、そば粉ガレット生地 の 作り方 や 具材 の 切り方、かぼちゃの裏ごしなど丁寧に説明し、児童たちの手元を見守りながら、一緒に調理を進めた。また、ほうれん草の根元部分の使い方についても女性部員がアドバイスしたところ、参加した保護者からは「いつもは捨てていた部分が、実は美味しい部分と知りました。これから捨てずに料理に使います」との声があり、親子で食材を無駄なく使う大切さを学ぶ機会となった。

最後に、デザート用のりんご飴作りでは、やけどに注意しながら串に刺したりんごを素早く飴にからませた。

完成した料理は昼食として実食し、児童たちからは「ガレットがモチモチしていておいしい」「りんご飴が家でも作れるのが嬉しい。また作りたい」と、笑みがこぼれていた。

【営農企画課 高桑】



小樽でオルゴール手作り体験

フレッシュミズ代表者研修

12月10日、JAきたそらち女性部フレッシュミズ代表者研修を開催し、6名が参加した。

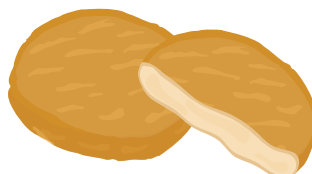
今回は小樽市の「オルゴール堂 海鳴楼」でオルゴールの手作り体験を行った。オルゴールで鳴らす曲目、ケース、そしてケースを飾るためのパーツを選んでいくが、参加者はあまりの種類の多さに頭を抱えながらも楽しそうに選んでいた。自宅用にと自分の好きな曲で作る方もいれば、子どもへのプレゼントにと子どもの好きなりボンなどのモチーフを散りばめて作る方もいた。同じケースを選んだ人でも出来上がりは全く違うものとなり、可愛らしさに参加者たちは笑顔を見せた。



その後のランチでは、小樽運河が眼前に広がるレストランにて、家庭のことや支部での活動などについて語り合った。

午後はかみ栄や堺町本通りに立ち寄り、お土産を購入するなどして楽しみ、小樽を満喫した一日となった。

【営農企画課 石野】



雨竜支所年金友の会 温泉湯治

11月16日から18日までの3日間、雨竜支所年金友の会（吉見正弘会長）の温泉湯治が小樽市の朝里クラッセホテルで行われ、会員19名が参加した。

初日の夜には宴会が行われ、おいしい料理とビンゴゲームで大いに盛り上がり、会員相互で親睦を深めた。

また、温泉やビュッフェを楽しみ、それぞれ思い思いの時間を過ごし、1年間の疲れを癒した。帰りには、「かま栄工場直売店」と「白い恋人パーク」に立ち寄り、お土産を購入し、充実した3日間となった。

【金融共済雨竜支所 松井】



金融
共済部

イチヤン支所協和会 温泉湯治を 実施

11月18日から20日までの3日間、イチヤン支所協和会（横井幸一会長、会員37名）が苫前町の「とままえ温泉ふわっと」で温泉湯治を実施し会員16名が参加した。

宴会では、料理とお酒を堪能し、ビンゴゲームやカラオケで楽しんだ。特にレクリエーションでは、すべての人が一緒に競い合えるスポーツである「ボッチャ大会」を行い、初めて体験する会員が多い中、盛り上がり、親睦を深めることができた。日中はゆっくり温泉にも入り、心身ともに1年間の疲れを癒した。

【融資課 谷内】



多度志年金友の会 温泉湯治で 親睦深める

11月25日から27日までの3日間、多度志年金友の会（堂田幸男会長、会員216名）は北竜町のサンフラワーパーク北竜温泉で温泉湯治を実施し、会員21名が参加した。

会員は温泉で日頃の疲れを癒しながら、得意の十八番を披露し合うなど、カラオケで盛り上がった。最終日には、深川市議会議員の有働正夫氏を交えた懇親会が開かれ、親睦を深め合う有意義な時間となった。

【金融共済多度志支所 平山】



金融 共済部



特殊詐欺を防止 JA職員2名に感謝状



12月8日、当JA金融共済イチヤン本所の職員2名が、特殊詐欺被害を未然に防いだとして、深川警察署より感謝状を受け取った。

同職員らは11月中旬、同本所の金融窓口で現金400万円を引き出しに訪れた深川市内の80代女性を対応。その女性の言動を不審に思い、引き出しの目的を訪ねたところ、「孫から電話を受け、400万円を受け取りにくる」との説明を受けたが、詐欺の可能性が高いと判断、同署に通報し特殊詐欺であることが発覚した。

感謝状を受け取った職員は「ここで引き出しを止めないとご夫婦のこれからが大変になるという思いだった。どこにでも詐欺の危険が潜んでいる。より気を付けて窓口対応をしていきたい」と話した。

また、同本所の長谷川正治課長は「不審な電話があったら、必ず第三者に相談してほしい。今回の事例をきっかけに、当地域において詐欺被害を防ぐ動きが広まれば」と呼びかけている。

【金融共済イチヤン本所 白川】



総務部

令和7年度 JAきたそらち地域農業応援団解散式

11月21日、准組合員及び地域住民を対象にした交流活動「JAきたそらち地域農業応援団」の解散式が当JA本所で行われ、団員14名が出席した。

開会にあたり、岩田清正組合長は「活動を通じて、農業と農協の関わり方が消費者の信用につながっているところを理解していただけたと思う。今後ともJAきたそらちときたそらちの農産物をご利用いただくことが、我々のモチベーションにつながる」と挨拶した。

続いて、当JA職員が第4回までの活動報告を振り返った。JA施設見学や花きの収穫体験、豆腐作り体験、りんご狩り体験などを通して、改めて生産や加工の大変さを気づく良い機会となったとまとめた。

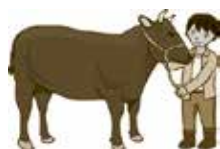
また、「JAきたそらちの活動に期待すること」をテーマに意見交換会が行われ、団員とJA役職員が4班に分かれてグループ討議を行った。団員からは、「お米や花きなど深川産のものをもっとアピールしてほしい」「新鮮な野菜を使った加工品を増やしてほしい」といった、深川農産物のブランドを高めてほしいという意見が寄せられた。

最後に、岩田組合長から団員それぞれに1年間の活動をねぎらい感謝状が手渡され、解散式は無事終了した。

【人事課 墓田】



開催日
11/12～11/13
市場成績



| 品種 | 性別 | 区分 | 市場全体 | | きたそらち農協 | |
|----|----|------|---------|---------|---------|---------|
| | | | 本年9月実績 | 前年同月実績 | 本年9月実績 | 前年同月実績 |
| 和牛 | 去勢 | 出場頭数 | 875 | 882 | 32 | 44 |
| | | 平均価格 | 792,727 | 612,073 | 780,175 | 545,600 |
| | めす | 出場頭数 | 611 | 641 | 43 | 57 |
| | | 平均価格 | 674,029 | 490,327 | 682,818 | 475,277 |
| 交雑 | 去勢 | 出場頭数 | 35 | 85 | 0 | 0 |
| | | 平均価格 | 412,437 | 308,453 | 0 | 0 |
| | めす | 出場頭数 | 228 | 342 | 91 | 59 |
| | | 平均価格 | 416,564 | 280,619 | 417,371 | 269,071 |

【平均価格は円・税込価格】

JAへの就職希望者100%就職内定

(令和7年度実績)

令和8年度入学生第3回募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年 ●寮完備（個室）/通学も可
- 受験資格：満27歳未満（令和7年4月1日現在）/
大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 令和8年2月15日（日）●願書受付：令和8年1月6日（火）～1月23日（金）消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

JAグループ職員養成校



JAカレッジ

一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 【JAカレッジ】で

検索



青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



JA.YOUTH_FUKAGAWA



URYU_SEINENB



青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！



知っておきたい得する経営情報

第22回

農業における人材育成の最新動向と実践

はじめに

農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。基幹的農業従事者の平均年齢は66歳を超え、農業者の急速な減少が見込まれる中、地域の農業生産を維持していくためには、戦略的な人材育成が不可欠となっています。2024年10月に施行されたスマート農業技術活用促進法をはじめ、国や自治体は農業人材の育成に本腰を入れ始めました。本稿では、最新の動向を踏まえながら、これからの農業における人材育成のポイントをお伝えします。



官民一体で進む人材育成の新しい枠組み

農林水産省は2024年6月、「農業経営人材の育成に向けた官民協議会」を設置しました。この協議会には、農業法人、民間企業、税理士、金融機関、教育機関など多様な関係者が参画し、2025年7月時点で700名以上の会員を擁する大きなプラットフォームとなっています。

さらに注目すべきは、2024年12月から始まった「農業経営人材育成研修プログラム」です。これは農業者向けの初級・中級コースと、農業者を支援する支援者向けの経営支援コースで構成され、オンラインで専門

家による講義を受講できる仕組みです。経営戦略の立て方、財務分析、原価計算など、農業経営に必要な知識を体系的に学べる環境が整いつつあります。

スマート農業時代に求められる人材像

2025年の国内スマート農業市場は141億円に達すると予測され、今後も右肩上がりの成長が見込まれています。しかし、スマート農業の普及には大きな壁があります。それは「技術を使いこなせる人材の不足」です。

スマート農業時代に求められるのは、従来の栽培技術に加えて、データ分析力、ICT機器の操作スキル、そして何より「デ

ジタル技術を活用して経営課題を解決する」という経営者マインドです。センサーデータを読み解き、AIによる栽培指示を現場に落とし込み、継続的に改善を図っていく。こうした人材を育成するには、理論と実践を組み合わせた学びの場が必要です。

スマート農業実証プロジェクトに参加して技術・ノウハウを培ったメンバの中でも、スマート農業技術の普及・実装に積極的に取り組む民間企業、営農指導員、研究者、自治体の普及員等が「スマートサポートチーム（通称…スマサポ）」として活動しています。

スマート農業技術の導入を検討されている方は、スマートサポートチームへご相談ください。

地域が連携した 育成モデルの広がり

効果的な人材育成には、地域の関係者が一体となって取り組むことが重要です。長野県上田市の事例では、市とJA信州うへだが連携し、新規就農者を「農業デジタル人材」として育成する取り組みを進めています。地域おこし協力隊としてスマート農業の実証実験に参加してもらうことで、就農支援とスマート農業の普及を同時に実現する仕組みです。

このように、行政機関、JA、農業法人、メーカーが連携し、地域ぐるみで人材を育てる体制が各地で構築され始めています。千葉県では農業法人が従業員の専門知識習得を支援する事業を展開し、

各都道府県でも農業経営塾が次々と開講されています。

多様な学びの機会を活用する

現在、農業人材育成には多様な選択肢があります。農林水産省が提供する動画学習サービス「スタディあぐり」では、自宅にいながら農業経営を学べます。信州大学のようICT農業に特化した社会人向けプログラムを提供する大学もあります。マイファームなどの民間教育機関は、週末農業学校を運営し、これで2,000名以上の卒業生を輩出してきました。また、補助金制度も充実しています。2025年度の「スマート農業・農業支援サービス事業導

入総合サポート事業」では、人材育成にかかる費用も支援対象となっています。就農準備資金や経営開始資金といった国の制度も、新規就農者の学びを後押ししています。

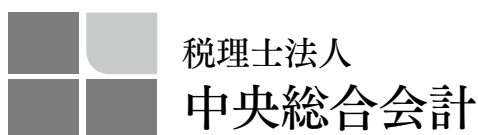
これからの 人材育成に向けて

農業における人材育成を「コスト」ではなく「投資」として捉える視点が重要です。研修やリスクリングの成果を生産性向上や利益率改善といったKPI（重要業績評価指標）に紐づけ、教育効果を可視化していくことで、経営層も積極的に人材育成に取り組めるようになります。

また、外国人技能実習生や特定技能外国人に対しても、母国語での安全

衛生教育を提供するなど、多様な人材が活躍できる環境整備が進んでいます。GAP指導員といった専門資格の取得支援も活発化しています。

農業の未来を切り拓くのは、間違いなく人です。技術が進化しても、それを使いこなし、経営に活かすのは人材です。官民が連携して構築しつつある人材育成の仕組みを最大限活用し、次世代の農業を担う人材を地域ぐるみで育てていきましょう。



税理士法人
中央総合会計

「安心」が、私たちの商品です。

<http://www.csk-i.com>



農業振興部からのお知らせ

無料経営相談会 令和8年開催日程について

令和8年の税理士法人 中央総合会計（代表 井内敏樹氏）による無料経営相談会を下記日程において開催いたします。法人化に向けた相談、経営継承、相続相談、会計業務のお悩みや公的諸融資制度等についての最適なアドバイスなど幅広く経営について相談をうけることができます。

なお、水稲繁忙期（4～6月、9～10月）を除いて開催させていただきますのでご了承ください。

お申込みの方は、相談を円滑に進めるため必要書類の事前提出をお願いしておりますので、下記期日までに営農企画課 高桑へご提出願います。

開催日程

| 回 | 開催月日 | 申込・書類提出期限 |
|---|---------------|---------------|
| ① | 令和8年 1月16日(金) | 令和7年12月26日(金) |
| ② | 3月 2日(月) | 令和8年 2月13日(金) |
| ③ | 3月26日(木) | 3月11日(水) |
| ④ | 7月29日(水) | 7月14日(火) |
| ⑤ | 8月26日(水) | 8月10日(月) |
| ⑥ | 11月26日(木) | 11月11日(水) |
| ⑦ | 12月24日(木) | 12月 9日(水) |

開催場所

JAきたそらち営農センター 小会議室

対応件数

各日 5件まで※1件1時間程度

相談内容

①法人化(既存法人、新設法人) ②経営継承 ③相続
④経営アドバイス

事前提出書類

①法人化：損益計算書、貸借対照表、減価償却台帳、確定申告B表
借入金償還表、固定資産税課税明細書 各2年分
②経営継承：上記①同様の書類 前年度分
③相続・贈与：家族構成、財産状況が確認できる書類
④経営アドバイス：上記①同様の書類 前年度分

相談料

無 料 ※ただし税務申告書の作成及び顧問契約等については個人負担

留意事項

- ・お申込み多数の場合は翌月に変更していただく場合もございます。
- ・相談時間帯はJAにて調整し、改めてお越しいただく時間を通知させていただきます。

自己免疫性肝炎

たかはし内科消化器内科 院長 高橋 公平



自己免疫性肝炎は、中年以降の女性に好発し通常慢性に進行する肝炎で、肝細胞障害の成立に自己免疫機序が関与するとされています。発症率は人口10万につき年間20人前後（ときどきみられる）。男女比は1対4、慢性肝疾患の約1.8%を占めます。

発症の原因は不明ですが、自己免疫機序の誘因としてウイルス感染、薬剤（ミノサイクリン、アトルバスタチン）が指摘されています。

多くは無症候性で、潜在性・慢性に経過し肝硬変へ移行します。検査所見はAST、ALT、抗核抗体や抗平滑筋抗体、IgGの上昇が特徴的です。自己免疫性肝炎治療の目的は、肝硬変への進展予防あるいは肝関連死の予防です。診断後、禁忌がない限り早期に十分量のステロイドを使用し、生化学的寛解を目指します。

2018年に免疫抑制薬アザチオプリンが保険適応となり、ステロイド難治例や再燃例への投与が可能となりました。また、ステロイド長期投与による副作用避けるため、維持料用としてのステロイドをアザチオプリンへ置換することも考慮されます。

進行を予防するため、疑われる場合は、肝臓専門医受診により肝生検を含めた早期診断が重要です。



十二月俳句

●雨電俳句会

風花を肩に咲かせて黒コート
水枯葉一枚はさみおり
後少し初冬向かえる外仕事
銀杏散る枝の茶残し黄絨毯
散髪の長めに残す寒さかな
幼き日思うて食べた一位の実

北川 満江
佐々木待子
松本 五月
竹原 美裕
宮武めぐみ
吉見サヨ子

●「道」俳句会 北電支部

手心を加えて作る御節かな
霜月の空に龍めく疾風雲
百葉の長と言いつつ雪見酒
山と里違いの判る初の雪
紅ひいて狐立ち寄る赤提灯
一枚の梢の枯葉それはそれ

山本 玲子
山岸 正俊
阿部れい子
山下 好晴
佐藤美智子
吉尾 広子

●土筆俳句会

初雪や靴さき濡らすせまき径
新鮮な語彙見つからず師走かな
盃交はす夫と子等居て除夜の鐘
泥落とし指のささくれ冬銀河
ファンファーレ駿馬駆け抜け大晦日
柏手や受験子二人願いこめ
公園の日陰に潜む雪だるま
冬鴉つぎつぎ潜る松の森

高尾美津子
池田 美知
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
小橋 厚子

金融共済部からのお知らせ

超巨大地震はいつ起きてもおかしくありません

過去の大きな地震の発生場所

(JA共済道北海道調べ)



令和3年3月27日 北海道新聞 朝刊

道東の大地震確率上昇

根室80%、釧路71%
30年以内予測

【道東の地震】道東地方は、日本列島の地震帯に位置し、過去に何度も大きな地震が起きています。特に、根室半島は、過去に何度も大きな地震が起きており、今後も大きな地震が起きる可能性が高いとされています。

【根室半島の地震】根室半島は、日本列島の地震帯に位置し、過去に何度も大きな地震が起きています。特に、根室半島は、過去に何度も大きな地震が起きており、今後も大きな地震が起きる可能性が高いとされています。

【釧路市の地震】釧路市は、日本列島の地震帯に位置し、過去に何度も大きな地震が起きています。特に、釧路市は、過去に何度も大きな地震が起きており、今後も大きな地震が起きる可能性が高いとされています。

地震などの自然災害・火災等へ確かな保障で確かな備えを

北海道の地震

にはJAの

建物更生共済

むてきプラス

建物更生共済

My家財プラス

過去の巨大地震と共済金のお支払実績

※地震の規模、最大震度は気象庁震度データベースより
※地震の規模はマグニチュード
※共済金のお支払実績は令和7年1月末時点
※JA共済道北海道調べ

| 発生年月 | 地震名 | 地震の規模 | 最大震度 | お支払共済金額 |
|----------|-----------|-------|------|---------|
| 平成7年1月 | 阪神・淡路大震災 | M7.3 | 7 | 1,188億円 |
| 平成13年3月 | 芸予地震 | M6.7 | 6弱 | 153億円 |
| 平成15年9月 | 十勝沖地震 | M8 | 6弱 | 40億円 |
| 平成16年10月 | 新潟県中越地震 | M6.8 | 7 | 773億円 |
| 平成17年3月 | 福岡県西方沖地震 | M7.3 | 6弱 | 143億円 |
| 平成19年3月 | 能登半島地震 | M6.9 | 6強 | 137億円 |
| 平成23年3月 | 東日本大震災 | M9.3 | 7 | 9,383億円 |
| 平成28年4月 | 熊本地震 | M7.3 | 7 | 1,487億円 |
| 平成30年9月 | 北海道胆振東部地震 | M6.7 | 7 | 85億円 |
| 令和3年2月 | 福島県沖地震 | M7.3 | 6強 | 1,095億円 |
| 令和6年1月 | 能登半島地震 | M7.6 | 7 | 1,511億円 |

金融共済部からのお知らせ

建物更生共済 いえの保障 **むてき** プラス 地震、火災、台風、大雪まで。家の安心を、これひとつで。

地震などの自然災害に強い!

火災や落雷、盗難などの事故はもちろん、台風や地震など自然災害による損害もしっかり保障します。

満期共済金がある!

掛捨てではありません。保障期間満了時に、満期共済金をお支払します。

地震保険料控除の対象です。

住宅や家財を対象とする場合、控除の適用が受けられますので、所得税等と住民税の軽減を図ることができます。

地震以外の自然災害にも確かな保障

最近の主な
お支払い例

平成30年
胆振東部地震
5,207件/
85億1,228万円
主な被災地区：石狩、釧路、根室、日高、室蘭
※保険料率を適用せず(令和3年度より適用開始)

令和2年度
雪害
3,279件/
49億6,669万円
※保険料率を適用せず(令和3年度より適用開始)

令和3年度
雪害
4,357件/
61億3,799万円
※保険料率を適用せず(令和3年度より適用開始)

ご契約例

●共済の対象:建物(協定共済価額1,500万円) ●保障期間…30年(継続回数2回) ●臨時費用共済金の支払割合30%
●実損てん補特約付 ●火災共済金額…1,500万円 ●満期共済金額…50万円

| | | | | | | |
|--|---|-------------------------|--------|------------|-----------------------------|-------|
| 火災・台風のとき | 損害の額 + <div><div>臨時費用 共済金</div><div>特別費用 共済金</div><div>残存物 とリカバリー 費用共済金</div></div> | このご契約例の共済掛金 | | | 住宅物件・口保護額低い 単位円(令和7年4月1日現在) | |
| 地震のとき | 750万円 × 損害割合 <small>※支払われる共済金は、損害の額の50%が限度です。</small> | 年払い | 月払い | 水道・ 防火造 | 81,725 | 6,981 |
| ケガ・死亡されたとき | 傷害共済金 | 省令準耐火等 (耐火造B・C) | 53,459 | 4,566 | | |
| 満期のとき | 50万円 + 割りもどし金 | 鉄筋 コンクリート等 (耐火造A) | 43,907 | 3,756 | | |
| <small>※共済期間10年の契約に継続特約を付すことにより、満期の共済期間を20年または30年に することができます。上記共済掛金例は契約当初10年間の共済掛金となります。継続後の ご契約に適用される約款・共済掛金率は、継続の例における約款・共済掛金率となります。</small> | | | | | | |

●割りもどし金は、ご契約後7年目から5年ごとおよび満期時に受け取れますが、その都度変動し、経済情勢などによっては0となる場合もあります。
●各種共済金のお支払いについては所定の条件があります。

建物更生共済むてきプラスには、家財を保障の対象とするプラン「My家財プラス」もあります。

■臨時費用共済金:火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害を受けたときに生じる臨時の費用に対して、火災・風水災等共済金の額の30%(または10%)をお支払いします。1回の事故につき、1建物について250万円が限度です。■地震の保障:地震等により損害割合が5%以上となる損害を受けた場合には、その損害に対して地震共済金をお支払いします。(損害額の50%が限度)■地震保険料控除:令和7年1月末日現在の法令等および国税当局への報告結果にもとづくもので、将来の取扱いを保障するものではありません。■残存物とリカバリー費用共済金:火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害を受けた共済の対象の残存物のとりこわし費用、とりかたづけ清掃費用、搬出費用をお支払いします。1回の事故につき火災・風水災等共済金の額の10%が限度です。■特別費用共済金:火災等や風災・ひょう災・雪災・水災により損害割合が6%以上となる損害を受けたときに生じる特別な費用に対して、火災共済金額の10%をお支払いします。1回の事故につき、1建物について200万円が限度です。■傷害共済金:ご契約の建物に発生した火災等や自然災害によって、ご家族や居住者が200日以内に所定の治療、または手術を受けたときに火災共済金額の5%をお支払いします。10日以上入院、または30日以上入院または通院して治療もしくは手術を受けた場合にお支払いします(1人につき30万円を限度とします)。■満期共済金は継続回数を継続したあとのご契約の共済期間が満了した際にお支払いします。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。
また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。



簡単にアンケートに答えるだけで

豪華賞品が
当たるチャンス!

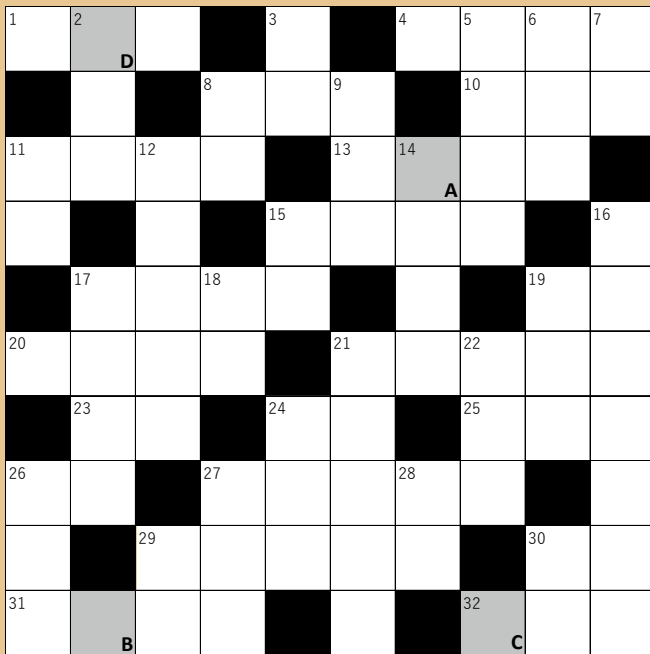


応募はこちら▲

お問い合わせ先

● JAきたそらち
共済センター TEL 0164-34-7151

[25019990038]



| | | | |
|---|---|---|---|
| A | B | C | D |
|---|---|---|---|

【タテのカギ】

- 2 つづること。アルファベットで単語を表記するときの文字の並び。
- 3 酒・しょうゆ・ワインなどを入れる木製・円筒形の容器。
- 5 石の像。
- 6 着る物や工芸品の図がら。「水玉〇〇〇」様子。ありさま。
- 7 でんぶん質の物を煮て作った、ねばりけのあるもの。物を貼る際に使う。
- 8 人や動物が物をかんだりするときに動かす口周りの部分。
- 9 二番目に生まれた女の子。
- 11 睡眠中に本当の出来事のように頭にうかぶもの。将来の希望。
- 12 溶岩が冷えて灰のように細かくだけもの。
- 14 石油の原油を熱したときにとれる、非常に燃えやすい油。
- 15 老年の男性。男性の老人。「〇〇さん」

- 16 熱や電気をよく伝える物質。導体。
- 17 辺り一帯。全体。一方の面。最初のページ。
- 18 不足分を補う物。
- 19 職業。仕事。
- 21 ある会に入って、その会員になること。
- 22 選挙でえらばれる人が集まって、政治や法律などについての会議をする所。
- 24 節をつけてうたう歌の総称。「〇〇〇曲」
- 26 めめめめしてつかみにくい細長い魚。
- 27 すでに結婚していること。
- 28 石灰質のからを持つ軟体生物の総称。
- 29 ももとすねをつなぐ、足を曲げる関節の部分。
- 30 人が住むための建物。

【ヨコのカギ】

- 1 ふだん。いつでも。常に。
- 4 わざや芸を見せること。ショー。芸を〇〇〇〇にした。
- 8 一家の中心になる人。やとい主。所有者。
- 10 ある地点から、ある地点までの長さ。
- 11 ゆり動かすように作られたかごのこと。
- 13 自分で描いた自分の肖像。
- 15 男性が女性の装いをする事。
- 17 仕事をやめたり、地位を退いたりすること。
- 19 書かれた文字。書いてまとめた物。書物。
- 20 鳥類などのかたい口先。
- 21 人や動物の形に似せて作ったおもちゃ。
- 23 兄弟姉妹の娘。
- 24 多めの水で、米をやわらかくたいしたもの。赤ちゃんや病人の食べ物
- 25 角の開きの大きさ。
- 26 めぐり合わせ。ラッキー。
- 27 土地や物事のさかい目。
- 29 一般には公開しないこと。
- 30 うすく平たい形をしたもの。とくに木を平たく切ったもの。
- 31 銀を産出する鉱山。
- 32 他からの攻撃などに対し、自分の力で自分を守ること。

11月号の正解は

「ダイコン」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深 川 市 藤 川 昌 子 様
深 川 市 菊 入 三 恵 様
深 川 市 宮 田 美 加 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上応募下さい。

締切1月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和8年3月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課

FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: https://www.ja-kitasorachi.com/living/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 10月末推定決算について
5. 財務報告及び事業実績について
6. 反社会的勢力等との取引状況について
7. コンプライアンス事故報告について
8. 令和7年9月基準マネロン等の防止にかかる対応状況について
9. 令和7年度第3四半期 内部統制及びリスク管理の取組状況について
10. 理事に対する資金の貸付に係る報告について
11. 職員の人事及び業務事故について
12. 役職員新年交礼会について
13. 完全週休二日制の導入について
14. 令和7年12月 営農懇談会日程について
15. 貸出金の貸付報告について
16. JA ネットバンク不正送金にかかる補償について
17. 令和8年度水稻作付意向調査結果について
18. 水稻中干期間延長による令和6年度Jクレジット申請について

議案第1号 みのり監査法人 期中監査Ⅱ結果概要報告について

議案第2号 組合員の出資金持分譲渡について

議案第3号 固定資産の取得について

議案第4号 職員の年末手当の支給について

議案第5号 貸出金の貸付について

議案第6号 貸理事者に対する貸出承認について

1. 令和8年度 営農計画について
2. 令和8年度 営農計画書 米関係単価について
3. 令和8年度 営農計画書 畑作関係単価について

19. 令和7年度 賦課金徴収実績について
20. 令和7年産 米集荷状況について
21. 令和7年産水稻の10月25日現在の予想収穫量について
22. うるち米・もち米を巡る情勢について
23. 過年産精算見込と令和7年産特定米穀精算見込について
24. 令和7年産うるち米・もち米概算金支払額について
25. 令和8年産米の取組方針について
26. 令和8年産米以降の集荷施策検討について
27. 畑地直播稲栽培の地域適応性確認試験について
28. KITASORACHI RICE FORUM ～つなげるおこめ～の開催内容について
29. 令和7年産 畑作物集荷状況について
30. 令和7年度畜産物の販売実績（10月末）について
31. 青果・花き集荷販売実績について
32. 燃料油 旧暫定税率・補助金廃止について
33. 令和7年度 営農灯油特別対策について
34. 経済部事業実績について

議案第7号 貸令和7年度 クミカン精算に係る農協仮渡金の対応について

議案第8号 令和7年産 そば共計品（一般品）の概算金について

議案第9号 令和7年産 種子馬鈴薯年内概算金の支払について

組合員の動き

（令和7年11月末日）

| | | 当期首 | 加入 | 脱退 | 当月末 |
|--------|----|-------|----|----|-------|
| 正組合員 | 個人 | 809 | 0 | 2 | 807 |
| | 団体 | 1,144 | 2 | 3 | 1,143 |
| 准組合員 | 個人 | 113 | 0 | 0 | 113 |
| | 団体 | 5,322 | 3 | 10 | 5,315 |
| 正組合員戸数 | | 257 | 1 | 0 | 258 |



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和7年11月実績

発電電力 19,880kWh

計画対比 3,147kWh

前年対比 Δ2,566kWh

売電金額 795,200円（40円/kWh）

○累計（R6.12～R7.11）

発電電力482,899kWh

計画対比 69,211kWh

前年対比 Δ71,524kWh

金融共済部からのお知らせ

火災共済ご加入の皆様へ



建物更生共済がご加入しやすくなりました！

建物更生共済

むてきプラス

のポイント



少ない掛金負担で
大きな保障

が可能となりました！

満期共済金の

最大30倍

まで保障！



実損てん補方式のため、
加入金額まで損害の額が保障されます！

※ 地震等による損害を除きます。



むてきプラスと火災共済とでは

保障の範囲がこれだけ異なります！

| | 火災などのとき 火災・落雷・盗難など | 台風などのとき 風災・ひょう災・雪災・水災 | 地震などのとき 地震・津波 | 火山の噴火 | 地震による火災 | 満期のとき 満期共済金 |
|------------------|-----------------------|--------------------------|--------------------|--------------------|------------------------|----------------|
| 建物更生共済 むてきプラス | ○ | ○ | ○ ※ 損害の額の50%を限度 | ○ ※ 損害の額の50%を限度 | ○ ※ 損害の額の50%を限度 | ○ |
| 火災共済 | ○ ※ 盗難による損害は対象外 | × | × | × | △ ※ 半壊以上の場合、共済金額の5% | × |

満期共済金

があって、この掛金！

さらに、お払込共済掛金は地震保険料控除^{※1}の対象に！

ご契約例^{※2}＜住宅保障プラン＞

- ・住宅物件（建物）
- ・保障期間 30 年（継続回数 2 回）
- ・協定共済価額 2,000 万円
- ・臨時費用共済金の支払割合 30%
- ・実損てん補特約付
- ・共済期間 10 年

満期共済金額100万円 火災共済金額2,000万円

| | 耐火造A | 耐火造B・C (省令準耐火) | 木・防火造 |
|----|----------|-------------------|-----------|
| 月払 | 5,921 円 | 7,001 円 | 10,220 円 |
| 年払 | 69,233 円 | 81,966 円 | 119,649 円 |

※口座振替扱い

ご契約例^{※2}＜家財家具保障プラン＞

- ・住宅物件（住宅内収容家財）
- ・保障期間 30 年（継続回数 2 回）
- ・共済価額 1,000 万円
- ・臨時費用共済金の支払割合 30%
- ・共済期間 10 年

満期共済金額50万円 火災共済金額1,000万円

| | 耐火造A | 耐火造B・C (省令準耐火) | 木・防火造 |
|----|----------|-------------------|----------|
| 月払 | 2,893 円 | 3,173 円 | 4,275 円 |
| 年払 | 33,797 円 | 37,114 円 | 50,055 円 |

※口座振替扱い

※継続後のご契約に適用される約款・掛金率は、継続の時に定める約款・掛金率となります。
 ※満期共済金は継続回数を超えた後のご契約の共済期間が満了した際にお支払いします。
 ※共済金のお支払いには、所定の条件がございます。詳しくはJAまでお問い合わせください。
 ※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書（契約概要）」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書（注意喚起情報）」および「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせは

JAきたそらち
共済センター TEL 0164-34-7151

<25019990036>

